

海外留学 春募集要項 (2019年5月締切分)

～2019年秋出発／2020年春出発プログラム～
早稲田大学 留学センター

2019年4月9日更新

◆目次◆	ページ
1. 対象プログラム概要	p. 2
2. 出願資格	p. 3
3. 選考スケジュール	p. 6
4. 今回の募集からの変更点について	p. 7
5. 出願方法	p. 8
6. 選考について	p. 13
7. 留学期間について	p. 14
8. 費用について	p. 15
9. 海外留学奨学金	p. 16
10. 査証（ビザ）取得および航空券の購入について	p. 17
11. 留学中の単位について	p. 18
12. 危機管理について	p. 18
13. 出願準備 チェックリスト	p. 20

◆出願に際しての注意点◆

- この冊子に書かれていることを熟読し、プログラムリストの内容をよく確認、理解した上で出願してください。
- プログラム候補者となった後は、原則として辞退することはできません。 正当な理由なく辞退した場合、それ以降の留学センター海外留学プログラム（短期プログラムを除く）への応募資格が失われます。
- プログラム候補者となった後においても、次のような場合は渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。
 - 学業不振や、必須となっている準備講座の参加姿勢が悪い場合
 - 書類提出の締め切りを守らない、必要な手続きを行わない場合
 - オリエンテーションへの出席状況が著しく悪い場合
 - 留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合
- 各学部・研究科で独自に行われている箇所間協定プログラムへの出願については、直接所属学部・研究科の事務所に確認してください。
- 今回募集するプログラムには、一部2019年度秋学期出発のものもあります。

1. 対象プログラム概要

(1) プログラム名称とその特徴

①Double Degree Programs (DD)

本学在学中にダブルディグリーのカリキュラムを提供する大学に留学し、所定の要件を満たせば、卒業する際に本学の学位と留学先大学所定の学位の両方を取得できるプログラムです。留学先大学におけるダブルディグリー課程修了のためには、外国語に関する高度な読解力、聴解力、会話力が求められるため、参加希望者の語学力については特に厳格な審査を行います。なお、プログラムによって、対象学部・研究科や期間が異なります。

②Exchange Programs- Regular Academic Programs (EX-R)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります。最初から比較的高い語学力が要求され、現地の学生と共に通常科目を履修するプログラムです。人数枠は通常各校1~3名です。学費は原則として本学に支払い、留学先大学の学費は免除されます。

③Exchange Programs- Language Focused Programs (EX-L)

大学間あるいは箇所間の交換協定に基づき留学する制度です。留学期間は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります。外国語学習を中心としたプログラムで、語学力を磨きたい人にお勧めです。ただし、このプログラムを提供している大学は比較的少ないため、対象校の確認をしてください。人数枠は通常各校1~3名です。学費は原則として本学に支払い、留学先大学の学費は免除されません。

④Customized Study Programs- Regular Academic Programs (CS-R)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。最初から留学先大学の通常カリキュラムの中で、現地の学生とともに通常科目を履修できます。留学は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります (CS-R(1semester)プログラム)。学費は原則として本学のものは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払います。

⑤Customized Study Programs- Language Focused programs (CS-L)

留学先大学が早大生のために定めるカリキュラムに参加するプログラムです。CS-Lプログラムの特徴は、外国語学習を中心としながら、語学レベルに応じてテーマに基づいたカリキュラムを履修できる点です。留学は原則として1学年相当期間ですが、1学期間のものもあります (CS-L(1semester)プログラム)。学費は原則として本学のものは免除になり、留学先大学に所定のプログラムフィーを支払います。

2. 出願資格

※以下の（１）～（３）を全て満たさない場合は、候補者として選出されません。

（１）出願資格

留学センターの海外留学プログラムへの出願資格は、プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍し、学業成績・人物ともに優秀な者であること。加えて、出願しているプログラムの出願要件を満たしている（大学院生、学部生、学年、国籍などが限定されているものがあります）ことが条件となります。

【注意点】

- 出願するにあたり事前に所属学部・研究科に出願の可否について確認してください。
- 出願先によっては、出発時に早稲田大学で4セメスター（4学期間）修了していること等、別途規定が設けられている場合もあります。プログラムリストに記載された出願要件をよく確認の上、出願してください。
- 出願先によっては、二重国籍を保有する学生を受け入れない大学もあります。該当する可能性のある方は、必ず保証人に二重国籍の有無を確認してください。その上でプログラムリストでの国籍条件をよく確認し、出願してください。
万が一、二重国籍を保有しているにも関わらず、留学センターに届け出ずに受入れ不可のプログラムに出願し、候補者として選出された場合でも、ビザの手続きをする際に二重国籍であることが判明します。その場合、ビザが発給されず、留学できないばかりでなく、それ以降の留学センタープログラムへの出願資格が失われます。
- 出願時に学部4年生で大学院に進学を予定している出願者については、出願資格について事前に所属学部、および進学を希望している研究科に確認してください。また留学センターにも出願時にその旨連絡をしてください。
- 転部した学生は新しい学籍番号を必ず留学センターに報告してください。
- 人間科学部 e スクール生（通信教育課程受講者）はカリキュラムの関係上、出願資格を有しません。
- 以下学部・研究科では 2019年4月入学者は出願資格を有しません。
文学部/文化構想学部/会計学研究科
- 以下学部では 2019年4月入学者はあらかじめクラス担任へ出願について問題がないか相談してください。
基幹理工学部/創造理工学部/先進理工学部

◆国際教養学部の学生の場合◆

- 国際教養学部の学生は、以下の例外を除き、出発時に3セメスター（3学期間）以上を早稲田大学で履修していることが必要です。
<例外>
 - ・ 4月入学の学生で在籍1学期目に交換留学プログラムに出願する場合
 - ・ 出願から半年後に出発可能な、アメリカのPortland State University CS-L(1Y)に出願する場合は、早稲田大学で出発時に2セメスター（2学期間）以上履修していれば参加可能です。
- 国際教養学部の学生が留学を終了した直後の学期末にそのまま卒業することは原則としてできません。
- 1セメスター（1学期間）のプログラムは、国際教養学部（SP1学生）において1年間の海外必修留学の条件を満たしません。
- 1セメスター（1学期間）の留学を2セメスター以上完了し、留学期間が1年以上の場合も1年間の海外必修留学の条件を満たしませんので、ご注意ください。例外として、CAMPUS Asia 副専攻プログラムについては、1セメスター（1学期間）の留学を連続して2セメスター以上完了し、なおかつ副専攻プログラムを修了した場合には、1年間の海外必修留学の条件を満たすことが可能です。

(2) 語学能力

① 英語プログラム

原則、留学先大学が定める語学能力の証明が必要になります。英語プログラムの場合、出願先の要求スコア（規定がある場合はセクションスコアを含む）を超えた **TOEFL** のオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) や **IELTS** の Test Report Form を提出できることが出願条件です。

【注意点】

- 複数のプログラムに出願する場合、プログラム毎に定められた語学要件を満たした語学能力証明書を提出する必要があります。
(例) A 大学は TOEFL iBT60、B 大学は IELTS5.0 を要件として定めている場合、A 大学と B 大学を併願する場合は TOEFL iBT60 点以上と IELTS5.0 以上の2つのスコアを提出する必要があります。
- 同じプログラムであっても、留学先大学で所属する学部によって、さらに要件が細かく指定されているものもあります。プログラムリストに掲載している要件（スコア）は、そのプログラムに出願できる最低基準のものです。留学先大学の特定の学部や特定のプログラムへの参加を検討している場合、プログラムオーバービューや留学先大学の WEB ページに載っている個々の要件を必ず確認してください。
- IELTS は2つのモジュール（タイプ）のテストがありますが、留学のための出願には アカデミック・モジュール の受験が必要ですので申し込みの際注意してください。

② 非英語プログラム

各種語学能力証明書（原本）の提出が求められているプログラム（主に EX-R プログラム）に応募する場合は、原則として要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本を提出できることが出願条件になります。

EX-R プログラムのうち、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、または要求されている語学能力を証明する公的試験のスコアカード/証明書の原本を提出できない場合は、対象者に面接試験を実施のうえ、出願者の語学力を判定します。面接試験の詳細については、別途該当者に連絡します。

【注意点】

- 併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。
- 一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な Language Focused Programs があります。このプログラムは面接試験の対象ではありません。
- 学内選考における面接試験は学内選考における出願者の語学力の判定の為のものであり、これにより留学先から求められる語学能力を証明する公的試験のスコアカード/証明書原本の提出が免除されるわけではありません。
- 母国語のプログラムに参加を希望する学生は、事前に留学センターへご相談ください。

【中国語 EX-R】

中国語の EX-R（EX-L は Language Beginner のため対象外）プログラムに出願する場合、学内選考時に HSK または中国語検定試験の受験・スコア提出が必須となります。

- ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアを満たさない場合でも、HSK または中国語検定試験のスコアを保持していれば出願することは可能です。
- ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアに達していない学生は語学面での基準を確認するために別途留学センターにて実施する面接試験（5月18日（土））を受験する必要があります。面接試験の詳細については、別途対象者に連絡します。
- ※ 面接試験を受け、学内選考で対象プログラムへの合格が出た後も、留学先大学に対しては定められた出願期間に、必要とされるレベルの語学スコアを提出する必要があります。

【参考】

HSK 試験 : <http://www.hskj.jp/>

中国語検定試験 : <http://www.chuken.gr.jp/>

③ 留学先大学から求められる語学能力・語学プログラム

学内選考の際に留学先から求められる語学要件を満たしていても、留学先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、留学先の大学の判断により、語学コースへの参加を求められることがあります。

その際、語学コースに参加するための費用が、プログラム (CS の場合) に参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。EX の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早稲田大学学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合があります。

(3) 必要とされる GPA

プログラムによっては GPA が要求されます。MyWaseda より「成績照会」内の各科目の成績を各自確認し、計算してください。学内選考時、GPA が留学先大学の要求を満たしていない場合は選考対象外となります。

学内選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。この計算式は留学センターが海外留学学内選考用に独自に定めたものです。学部・研究科での算出方法と異なります。

$$\frac{\{ (4.0 \times A \text{ 取得単位数}) + (3.5 \times A \text{ 取得単位数}) + (3.0 \times B \text{ 取得単位数}) + (2.0 \times C \text{ 取得単位数}) + (0 \times F, G, H \text{ 等単位数}) \}}{\text{総履修単位数}^* (\text{卒業算入科目として登録した単位数の合計})}$$

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。

評価 (素点)	学内選考で使用する成績表記
100～94	A+ (4.0)
93～90	
89～87	A (3.5)
86～83	
82～80	B (3.0)
79～75	
74～70	C (2.0)
69～60	
59～50	F*
49～0	G*

【注意点】

- F と G の範囲および H は各学部、研究科で異なります。
- 小数点第 3 位切り捨てで計算をしてください。(例) 2.996⇒2.99 (3.0 にはならない)
- P と N は GPA 計算には含めません。
- 学部の 1 年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPA が算出できない場合は、GPA 要件のあるプログラムへは出願できません。GPA 要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は高校の英文成績証明書を提出してください。

3. 選考スケジュール

2019年3月20日更新

【出願選考スケジュール】

日程	時間	内容・会場
4月11日(木)～	順次	プログラムリスト情報公開開始
4月22日(月)		プログラムリスト プログラム追加最終日 ・4月22日(月)まで順次プログラムリストにてプログラムを追加、更新します。 ・以降はプログラムの追加はありませんが、一部プログラムについては内容が確定していない場合があります。プログラムリスト内、「CURRENT STATE」をご確認ください。(「確定情報」となっているか確認してください)
4月23日(火)～ 5月9日(木)	正午～ 17:00 締切	WEB出願登録 ・MyWaseda 申請フォームにて。 ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。前日までに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・ 終了時間に注意 締切後の登録はいかなる理由があろうと受け付けません。
5月6日(月)～ 5月9日(木)	提出受付： 10:00～17:00 相談受付： 12:00～17:00	出願必要書類提出 提出場所 22号館1階 Waseda Global Gate ・指定の封筒(WGGにて配付)に書類を入れ、封をした状態で提出用のBOXに投函してください。 ・ 期限に注意 5月9日(木)17時を過ぎての提出はいかなる理由があろうと受け付けませんので、余裕をもって早めに提出するようにしてください。 ・西早稲田・所沢キャンパスの学生は同じ期間中に所属の事務所でも提出を受け付けます。
5月15日(水)～ 5月24日(金)		学部・研究科留学適性判断 ・面接等、所属事務所により連絡があります。 ※内容は各所属学部によって異なります。 ※面接を実施しない場合、連絡はありません。
5月18日(土)	後日連絡	非英語面接試験 ・非英語EX-Rプログラム応募者対象 ※対象者には別途連絡をします。
5月31日(金)	13:00以降～	学内選考結果発表 ・MyWaseda「お知らせ(個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ)」にて

【各種イベント】

日程	時間	内容・会場
4月19日(金) 4月20日(土)	後日詳細掲載 4/19: 12:00-17:00 4/20: 10:30-17:00	春の留学フェア 会場 国際会議場
6月12日(水)	18:15～	留学プログラム候補者決定直後オリエンテーション 会場 22号館201教室 ・必ず出席してください。 ・当日は出欠を確認します。 ※スケジュールは変更になる場合もあります。 ※秋出発プログラムは、本オリエンテーションに加え、別途プログラム別オリエンテーションが実施されることがあります。(別途案内有)

4. 今回の募集からの変更点について

海外留学プログラムリスト（中長期留学プログラム検索サイト）に「大学名で検索」する機能を追加しました。

■ 1語ごとの AND 検索が可能です。

例えば、「Arizona State University」と入力すると、大学名に「Arizona」「State」「University」の3語全てが含まれる大学のみが表示されます。「Arizona」と入力すると、大学名に「Arizona」が含まれる大学全てが表示されます。なお、「Arizo」のような一部分でも検索可能です。

■ ローマ字の場合、全て半角で入力してください。大文字でも小文字でも検索結果は同一です。

例： ○「ARIZONA」「arizona」 ×「ARIZONA」「Arizona」

■ 同様に、日本語でも AND 検索が可能です。日本語の場合は全角で入力してください。

例： ○「アリゾナ」 ×「アリヅナ」

■ 「TERM」や「PROGRAM」など、他の条件指定との併用が可能です。

■ 希望の大学名を入れても結果が表示されない場合は、想定した大学名とプログラムリスト上の大学名とが異なっている可能性があります。

「NAME OF INSTITUTION」を使わずに「COUNTRY」などの条件のみでも検索を試してください。

5. 出願方法

(1) WEB 出願登録

今回の春募集に出願するには、まず WEB 出願登録を行っていただきます。

WEB 出願期間： 2019年4月23日（火）正午～5月9日（木）17:00

登録先 URL：

<https://my.waseda.jp/application/detail/application-detail?communityContentLinkId=238823882>

※以下 CIE の WEB 上からアクセスしてください。

※出願期間以外はアクセスしても表示されません。

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/lyear>

【注意点】

- WEB 出願が完了した学生を対象に行う出願必要書類提出（受付期間：2019年5月6日（月）～5月9日（木）10:00～17:00）をもって、今回の海外留学春募集への正式な出願となります。WEB 出願登録だけ、もしくは書類提出だけでは正式な出願者とは見なしません。
- WEB 出願登録の締切は2019年5月9日（木）17:00 までです。それ以降のデータ送信は無効となります。また、最終日の5月9日（木）はアクセスが集中し、登録エラーが多く発生する可能性がありますので、余裕を持って登録してください。
- 入力した内容を変更したい場合は、入力内容を変更した後に「保存」ボタンをクリックしてください。一番新しく入力したものがデータとして登録されます。WEB 出願期間中は何度でも変更が可能です。入力期間経過後の変更はできませんので注意してください。また、必須回答項目につきましては、全項目を回答した上で登録を行ってください。
- 入力に時間を要する場合は入力データの消失を防ぐため、15分に1回を目安にデータ更新（「保存」）をするようにしてください。
- 申請内容確認のメールが登録後すぐに送信されます（5分以内）。メールが届かなかった場合は登録エラーですので、再度登録を行ってください。入力した項目は申請フォーム上で確認ができます。必ず内容に間違いがないか確認し、申請内容を印刷して選考結果発表時まで大切に保管しておいてください。申請期間を過ぎると確認ができなくなりますので、必ず印刷、保管してください。
- 入力内容・入力確認に関するお問い合わせについては応じられませんので 募集要項等をよく読み、自分で判断した上で入力してください。
- システム上の問題等のお問い合わせについては、MyWaseda のグローバルメニュー「IT サービス」の「ヘルプデスク」、「問い合わせ/Support」というリンクから行なってください。ただし、緊急の場合や問い合わせ後数日経過しても不具合が修正されない場合などは、留学センターまでご連絡ください。
- WEB 出願に入力された情報はプログラム運営上、留学センターおよび所属事務所が出願学生やその保証人と連絡をとる必要がある場合のみ利用され、その他の目的には利用されません。

具体的な入力が必要な以下の①～⑤の項目を事前に準備しておくこと、スムーズに出願登録手続きを行えます。

① 個人情報

- ローマ字（半角大文字）（原則：パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記）による氏名、国籍、電話番号、携帯電話、メールアドレス、緊急連絡先氏名と電話番号。
- 留学先大学によっては、日本国籍以外の国籍を所有する学生の留学を認めていない場合があります。二重国籍をお持ちの方は、必ず質問項目に記入してください。

② 志望プログラム

- 条件を満たしたプログラムを、**最大で第7志望まで**選択することができます。あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択してください。
- 今期の募集対象校の最新情報は、海外留学プログラムリスト（2019年5月締切分）
(<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/programlist/list>)にて確認してください。
- 一つの大学に複数のプログラムがある場合、それぞれプログラムコードが異なります。プログラムの選択をする際には、大学名のみではなく、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。
- 候補者として選ばれた後は辞退が認められません。出願する際には、十分に注意して手続きを行ってください。

③ 【英語】語学能力に関する設問

- 出願書類(P. 11)の「③公的試験証明書(TOEFL iBT(Examinee Score Report)/ITP・IELTS(Test Report Form)など)」を熟読のうえ、出願するプログラムの要件に該当する公的試験の証明書を準備してください。
- ここに入力されたスコアと同一の公的証明書を出願書類提出時に提出してください。
- WEB出願で入力された公的試験証明書の提出が確認できなかった場合は、入力されたスコア・証明書は無効となりますので、ご注意ください。
- プログラムオーバービューや現地大学の語学能力証明として認められていない公的試験証明は、入力されたとしても選考に関与しませんので、入力・提出しないようにしてください。

④ 【非英語】語学能力に関する設問

- 今回募集対象となる言語種別を選択してください（複数選択も可）。
- 語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴（学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間）と、現在および今後の学習計画、その他言語学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。
- 該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、「各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル(韓国語能力試験、DELE スペイン語検定試験など)」を提出してください。
- プログラムオーバービューや現地大学の語学能力証明として認められていない公的試験証明は、入力されたとしても選考に関与しませんので、入力・提出しないようにしてください。

⑤ 学習・研究計画書

- 制限字数以内で記入してください。和文と英文のいずれでもかまいません。
- 学習・研究計画書は留学先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。

◆問題◆

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい。和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、評価の対象とはしないので、必ず自分自身で書き上げること。

※各志望大学の志望理由を、一貫性をもって説明できる場合には、必ずしも大学ごとの志望理由を記載する必要はない。しかし、複数言語にまたがる大学・プログラムを選択している場合には、それぞれについての志望理由が明確となるように記述すること。

問1：

興味のある学術分野と絡めて、あなたが留学を目指す目的を説明しなさい。(800字以上～1200字以内)

※英文の場合は400～600 words程度

問2：

選択した大学の志望理由を書きなさい。(400字以上～800字以内)

※英文の場合は200～400 words程度

⑥ 【共通】WEB 出願にあたっての同意

以下の6点について同意が必要となります。

- WEB 出願時の入力内容、出願必要書類に虚偽の記載はなく、虚偽の記載があった場合には何かしらのペナルティが課されること。
- WEB 出願および出願必要書類については印刷、コピーをし、自身の控えを取っていること。
- WEB 出願締切後の志望プログラム、志望順位の変更はできないこと。
- 海外留学プログラムの候補者として選抜された後は辞退しないこと。
- 海外留学プログラム候補者として選抜された後は、留学先予定大学の変更を申し出ないこと。
- やむを得ない事情で、辞退を申し出る場合、辞退の手続きおよび可否の判断に関しては留学センターの指示に従うこと。

(2) 出願必要書類提出

海外留学春募集の出願は、WEB 出願登録および出願必要書類の提出をもって完了し、正式な出願者として選考されます。必要書類を揃えた上で、提出場所である 22 号館 1 階 Waseda Global Gate に設置してある所定の封筒に必要事項を記入し、封をした状態で提出用 BOX に投函してください。

書類ダウンロード：<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>

書類提出期間： 2019 年 5 月 6 日（月）～5 月 9 日（木）

※ 事務所開室時間中のみの受付となります（10：00～17：00）。

※ 相談対応は 12:00～17:00 のみの受付となります。

提出場所： 早稲田キャンパス 22 号館 1 階 Waseda Global Gate

- 西早稲田、所沢キャンパスの学生は所属事務所にて同じ期間中であれば提出可能です。
- 5 月 9 日（木）17:00 を過ぎての提出はいかなる理由があろうと受け付けませんので、日程に余裕をもって提出するようにしてください。
- 志望するプログラムへの出願に際し必要となる書類を以下①～⑤の順に揃えて提出してください。提出書類の紙サイズは、可能な限り **A4 サイズ** でご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いません。
- また、**語学スコア、成績証明書については留学先大学に出願時に使用しますので提出前に、自分用の控えとしてコピーを忘れずに取って保管してください。**

全員提出

① 海外留学プログラム誓約書 2 部（原本 1 部とコピー 1 部）

- 必ず留学センターWEB ページからダウンロードした最新版の誓約書を使用してください。
<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>
- 必要事項を記入して提出してください。保証人の方の署名捺印も必要です。日付も忘れずに記入してください。鉛筆や消えるペンでの署名は、無効となりますのでご注意ください。
- 学生本人、保証人の両方の署名捺印が完了した後にコピーを取り、原本とともに提出してください。
- 外国籍の方で印鑑がない場合は、記名に加え署名が必要です（保証人欄含む）。
- **WEB 出願時に申請するプログラムすべてにおいて、事前に保証人の了解を得ていることが必要です。**

② 英文成績証明書（原本 1 部）

以下の表に従い、必要な成績証明書（すべて英文）を提出してください。

学部生	学部の証明書 または 高校の証明書
修士課程	学士課程の証明書 および 修士課程の証明書

- 修士1年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部を成績の対象とします。
- 博士1年生の場合も、博士課程での成績が提出できない場合は、学士～修士までの成績が対象になります。
- **国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。** 事務所経由で留学センターに提出されます。
- 学部4年生で、早稲田大学の大学院に進学が決まっている学生は、**大学院合格通知書**も提出してください。
- 学部の1年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPAが算出できない場合は、GPA要件のあるプログラムへは出願できません。GPA要件の無いプログラムに出願することは可能ですが、その場合は**高校の英文成績証明書**を提出してください。
- 英文成績証明書は自動証明書発行機から入手することができます。
<https://www.waseda.jp/navi/services/opentime-certificates.html>

英語プログラム出願者

③ 公的試験証明書（原本1部）TOEFL iBT (Examinee Score Report)、ITP/IELTS (Test Report Form) など

- 出願先大学が定める要求スコアを超えたTOEFLのオリジナルスコアカード(Examinee Score Report)やIELTSのTest Report Formを提出してください。プログラムによっては、Section Score (Reading, Listening, Speaking, Writing)別の要求スコアが設けられている場合もあります。
- 出願の際、TOEFL/IELTSのスコアは**2017年6月1日以降に受験したものを提出してください。**TOEFL/IELTSの**有効期限は2年間**であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、**再受験が必要な場合もありますので注意してください。**再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない可能性もあります。その場合、別の大学への出願はできません。
- TOEFL-iBTおよびIELTSについては、WEB画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。スコアや名前が切れないように気をつけてください。ただし、後日そのプリントアウトと同一のスコアカードを必ず提出してください。**最終的にExaminee Score Report/Test Report Formの提出がない場合は、出願そのものが無効となります。**
- TOEFLのExaminee Score Reportは、オンラインでのテスト申込時にMy Home Pageのスコア通知設定(Score Reporting Preference) ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。
- IELTSのTest Report Formは、受験日から13日目に発行され、受験者に郵送されます。その後30日間、無料で提出機関への郵送を設定できますが、出願先の大学や留学センターへの送付はせず、他の書類と合わせて提出してください。
- IELTSは2つのモジュール(タイプ)のテストがありますが、留学のための出願には**アカデミック・モジュール**の受験が必要です。申し込みの際注意してください。
- スコアカードは原則として返却しません。
- WEB出願の際に入力した公的試験の証明書の提出が無い場合は、入力したスコアが無効となります。
- WEB出願時に入力したスコアと実際に提出されたスコアが異なる場合は、提出された公的試験証明書にあるスコア・レベルを正として選考を進めます。

非英語プログラム出願者 (EX-L、CSのみの出願者含む)

④ 各種語学能力公的試験等の公的証明書／スコア（原本1部）

- 非英語EX-Rプログラムの場合は、原則として留学先大学が要求するレベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本の提出が必要です。ただし、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場

合、およびスコアカード/公的証明書を提出できない場合は、対象者に面接試験(5月18日(土))を実施の上、出願者の語学力を判定します(併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません)。

- 学内選考出願時に所持していても、学内選考後、留学先大学に出願する際、要求レベルを超えたスコアカード(原本)の提出を求められる場合があります。
- 各公的試験証明書の有効期限を必ず確認し、2019年5月31日(金)まで有効な証明書・スコアを提出するようにしてください。学内選考後、留学先大学へ出願する際にスコアが無効となる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。
- 証明書の原本がすぐに入手できない場合は、WEB上のスコアのプリントアウトやコピーでも提出が可能ですが、後日原本を提出いただく必要があります。
- スコアカードは原則として返却しません。
- WEB出願の際に入力した公的試験の証明書の提出が無い場合は、入力したスコアが無効となりますのでご注意ください。
- WEB出願時に入力したスコアと実際に提出されたスコアが異なる場合は、提出された公的試験証明書にあるスコア・レベルを正として選考を進めます。
- 中国語のEX-R(EX-LはLanguage Beginnerのため対象外)プログラムに出願する場合、学内選考時にHSKまたは中国語検定試験の受験・スコア提出が必須となります。スコアは2017年6月1日以降(中国語検定試験の場合、一部の級は2014年6月1日以降)に受験したものを提出してください。有効期限は2年間であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない可能性もあります。その場合、別の大学への出願はできません。
 - ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアを満たさない場合でも、HSKまたは中国語検定試験のスコアを保持していれば出願することは可能です。
 - ※ 留学先大学の求めるレベル・スコアに達していない学生は語学面での基準を確認するために別途留学センターにて実施する面接試験(5月18日(土))を受験する必要があります。面接試験の詳細については、別途対象者に連絡します。
 - ※ 面接試験を受け、学内選考で対象プログラムへの合格が出た後も、留学先大学に対しては定められた出願期間に、必要とされるレベルの語学スコアを提出する必要があります。

【参考】

HSK試験：<http://www.hskj.jp/>

中国語検定試験：<http://www.chuken.gr.jp/>

大学院生出願者

⑤ 海外留学募集出願 大学院生推薦状(原本1部)

- 大学院生(修士、博士含む)で出願する方は必ず提出してください。
- 出願するにあたり、研究指導教員と留学について相談をした上で、研究指導教員記入欄(右上)の記入を依頼してください。また、依頼する際は学生記入欄(中央下部)をあらかじめ記入した上で依頼してください。
- 2020年3月に学部を卒業し、大学院へ進学後に留学を希望される方も、同様に提出が必要です。すでに研究指導員が決定している場合は、その教員へ記入を依頼してください。教員が未定の場合は、別途留学センターに出願時にご相談ください。
- 大学院の出願を希望する場合はウェブ登録前に留学センターまでお問い合わせください。

6. 選考について

(1) 早稲田大学内選考と留学先大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て候補者に選ばれた方は、早稲田大学から推薦される学生として、留学先大学に応募する資格を得たこととなります。

ただし、それは留学先大学からの受入許可を100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、留学先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。留学先大学への出願手続きならびに留学先大学での選考は2019年6月～2020年2月にかけて行われます。

また、候補者に選ばれた後においても準備講座の参加姿勢・学業不振・書類提出の締め切りを守らない場合・必要な手続きを行わない場合・オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、留学中止の勧告を行うことがあります。

修士課程・博士課程での留学については、事前に留学先の候補として選んでいる大学の研究指導教員等からの受け入れ許可が必要な場合が多いため、あらかじめ志望する大学に打診の上、出願時に留学センターにもその旨連絡してください。

University of Bonn, CS-L(1S), German に関しては、University of Bonn での選考スケジュールの関係上、学内選考結果発表を待たずに学内出願の時点で University of Bonn へのオンラインアプリケーションをしていただく必要があります。つきましては、1～7 志望いずれかに University of Bonn, CS-L(1S), German を志望した場合は志望順位に関わらず、合否結果の発表前にオンラインアプリケーション実施の案内を送付しますので予めご了承ください。学内選考結果をもち、実際に University of Bonn, CS-L(1S), German へ決定した学生の情報での手続きを進め、それ以外の学生の情報は削除されます。必ず Program Overview 記載を確認してください。

(2) 選考方法

出願者の志望プログラムより、以下の選考要素を総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの候補者に選出します。

- 学業成績 (GPA)
- 語学能力 (TOEFL などの語学試験のスコア)
- 学習・研究計画書
- 所属学部・研究科での留学適性判断 (方法は各所属箇所により異なる)
- 面接 (非英語 EX-R のみ対象)

(3) 各プログラムの選考について

① 非英語プログラム (EX-R)

- 非英語の EX-R プログラムに出願する学生で、留学先大学が明確な要求レベルを提示していない場合、および出願時にスコアカード/公的証明書の原本を提出できない場合は、対象者に 5月18日(土)の面接試験を実施の上、出願者の語学力を判定します。
- 対象者には留学センターより事前には通知があります。
- 併願しているすべてのプログラムの要件を満たしている証明書の提出がなければ、面接は免除されません。

② 上記以外の英語 EX・CS、非英語 EX-L・CS プログラム

- 留学センターでは、筆記試験・面接試験を行いませんが、所属学部・研究科での留学適性判断において各所属学部・研究科による面接が実施される場合があります。

(4) 学内選考結果発表の確認方法

今回の海外留学春募集の選考結果は MyWaseda の「お知らせ」にて **2019年5月31日(金) 13:00 以降**に発表いたします。

以下の画面の通り、MyWaseda (<https://my.waseda.jp/login/login>) にログインし、中央にある「個人宛・所属事務所から・重要なお知らせ」に出願者の選考結果を通知します。



【注意点】

- 学内選考結果の表示期間は結果発表から3か月です。
- 一度通知を確認した通知は「お知らせ」欄には表示されなくなります。再度通知を確認したい場合は、右側の「一覧へ…」のページに移動し、「検索(既読のお知らせ参照はこちら)」より「既読」の条件を指定し、「国際交流」にチェックが入った状態で検索してください。

(5) 併願について

- 所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。
- ただし、留学センターのWEB出願・書類提出期限(5月9日(木) 17:00)までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。箇所間協定の結果が出た段階で、留学センターのプログラムは辞退する旨、留学センターに連絡をしてください。

7. 留学期間について

- 留学期間は、プログラムによって異なります。1学年間(1Y)のものもあれば、1学期間(1S)のものもあります。出願に当たっては留学期間についてよく理解したうえで出願してください。
- プログラム期間の延長は原則として認められないため、留学期間終了後は必ず帰国し、所属学部・研究科にて所定の手続きを経る必要があります。
- 特別な事情を除いて、プログラムには全期間終了まで参加することが求められます。
- 留学期間中は、早稲田大学での科目履修はできません。
- 自己都合により途中帰国した場合、プログラムフィー、早稲田大学学費、その他留学にかかわる費用は返金されません。

- アメリカの Portland State University, CS-L(1Y)には、出発時期が異なるプログラムがあります。

募集時期	出発時期
今回の募集	2019 年秋出発
2019 年 10 月募集	2020 年春出発

8. 費用について

(1) DD プログラム

- EX と同様に早稲田大学の所属学部の学費等を納めます。
- いずれの場合も、ダブルディグリー登録料（15 万円）が別途必要になります。

(2) EX プログラム

- EX プログラムに参加する場合、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払うことにより、留学先大学での学費が免除されます（一部プログラムを除く）。
- 宿舍費や食費（プログラムリストの“EST. ROOM & BOARD”に示されている金額）は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどです。また、協定校によってその項目は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Insurance Fee、Mandatory Fee 等、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。その金額は留学先大学によって異なりますが、場合によって年間 10 万円を超える負担が必要となることがあります（特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等の協定校）。
- 延長生で交換留学にて留学をする学生については、学費の取り扱いが異なります。延長生は所属学部・研究科に確認の上、出願時に必ず所属事務所および留学センターに申し出てください。

(3) CS プログラム

- プログラムフィーには、留学先大学での学費、プログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円、1 学期間 5 万円）などが含まれています（プログラムリストの“EST. TUITION”に示されている金額）。
- 宿舍費や食費（プログラムリストの“EST. ROOM & BOARD”に示されている金額）、また、設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で留学先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに含めて早稲田大学に納めていただく場合があります。
- プログラムリストにある金額は、留学先大学の学費の値上げ、為替レートの変動、外国政府の財政状況や政策変更などに伴い、金額が上昇する場合があります。実際の納入は、留学先大学からの請求金額を留学センター規定レートにて日本円に換算した金額でお支払いいただきます。
- プログラムフィーは、指定期日までに留学センターの指定口座に必ずお振り込みください。
- 同じ国への留学であっても、請求金額が確定する時期によって、換算レートが変動します。
- “EST. ROOM & BOARD”の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

9. 海外留学奨学金

- 留学センターから案内する留学のための奨学金は全て**給付型（返還不要）**です。
ただし必ずしも全員が受給できるとはかぎりませんので、出願する場合も**留学の経費負担計画には含めないでください。**
- 留学のための奨学金は、学内選考で留学候補者として選考された時点で応募可能となります（以下の奨学金の応募はこの1度のみです）。**特定の奨学金および志望順位を指定して応募することはできません**が、1度の応募で受給資格のある全ての学内奨学金に一括エントリーできます。
- 受給者発表および奨学金支給のタイミングは奨学金によって異なり、**出発直前あるいは出発後になる可能性があります**。奨学金の**支給が帰国後**になる可能性もあります。
- 奨学金の募集期間の発表および留学のための奨学金募集要項は、5月31日（金）の学内選考結果発表後に、対象者にメールでお送りします。
- 提出書類（予定）：奨学金申請書、父母の課税・非課税証明書
提出書類の詳細については奨学金募集要項を必ずご確認ください。
- 海外留学春募集（2019年5月締切分）において募集対象予定の代表的な奨学金は以下の通りです。
各奨学金の詳細は留学センターHP
(<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/aid/scholarship>) をご確認ください。
奨学金の内容は予告なく変わる可能性があります。

(1) 日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）

文部科学省の外郭団体である（独）日本学生支援機構の奨学金です。

対象	早稲田大学の留学プログラムで留学する学部生・大学院生のうち、日本国籍を有する学生および日本への永住が許可されている外国籍学生
奨学金	月額6～10万円 ※地域によって異なる
支給期間	12ヶ月以内
採用者数（予定）	264名 ※年度により大きく異なる可能性あり

(2) 早稲田大学学生交流奨学金

対象	早稲田大学の学部または大学院の正規課程に在籍し、本大学が海外の教育機関と締結した学術院協定に基づいて、支給年度中に6か月以上1年以内の期間、海外の大学に留学する者（DD, EX, CS, 箇所間） 日本国籍学生、外国籍学生共通。
奨学金	25万円
採用者数（予定）	150名

※以下、2019秋出発（1Y）のプログラム*のみ対象

*アメリカのPortland State University, CS-L(1Y)

(3) 千田吉郎記念海外留学奨学金

本学校友である故・千田吉郎（ちだきちろう）氏（1949年高等師範部卒業）の遺志により、海外に留学する優秀な学生を支援することを目的として2015年度に新設されました。

対象	留学センターのCSプログラムで1学期(セメスター)以上海外留学を行う、所定の修業年限内の学部生のうち、経済的支援を必要とする優秀な日本人学生。(永住者、特別永住者、定住者、永住者・特別永住者の配偶者および子を含む)
奨学金	100万円
採用者数(予定)	2名

(4) 高城幹記念海外留学奨学金

株式会社タカギ代表取締役のご尊父である故・高城幹(たかぎみき)氏の遺志により、アメリカ合衆国に留学する優秀な学生を支援することを目的として、2015年度に新設されました。

対象	留学センターが提供する留学プログラムによりアメリカ合衆国の協定校へ1学期(セメスター)以上の海外留学を行う経済的な支援を必要とする日本国籍を有する優秀な学部生(DDプログラム学生の場合は初年度のみ給付)
奨学金	100万円
採用者数(予定)	2名

※ 採用者は、留学前に(株)タカギにて行われるオリエンテーションのほか、帰国後2週間のインターンシップまたは帰国後報告会に参加していただく予定です(交通費、滞在費は会社負担)。また、留学中は月間報告書を作成していただきます。

10. 査証(ビザ)取得および航空券の購入について

- 査証(ビザ)および滞在許可は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められています。
- 査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き(申請)方法、必要書類(申請書等)や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく変更されます。
- 留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報(必要書類・申請料・申請期間等)を得るようにしてください。
- 入国の際の航空券の種類に関し、査証や国により制約がある場合があるので各自ご確認ください。
- 査証取得の手続きおよび航空券の購入の責任は、全て申請者に委ねられることをご理解ください。

◆オーストラリアのプログラムに関して◆

- ・日本国籍保有者以外のオーストラリアの留学ビザ申請には、ビザ申請時に規定の語学能力スコアを求められることがあります。各自で条件を必ず確認してください。
- ・したがって、学内選考時の協定校要求スコアをクリアして早稲田大学内の選考を通過し本学の候補者となった場合でも、その後ビザ申請用の所定要求スコアを取得することが必要になる場合があり、指定試験の所定要求スコアを満たさないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。
- ・なお、ビザ申請についての情報は予告なく頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。
- ・オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。<http://www.immi.gov.au/>

1 1. 留学中の単位について

- 全てのプログラムにおいて、前提とされる科目 (Pre-requisite) を履修していない場合や、履修人数の制限により、留学先大学において希望の学部での履修が認められない、もしくは受講を希望する科目に登録できないことがあります。
- プログラムは、皆さんが学ぶに値すると留学センターが判断した内容になっていますが、現地大学で修得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。
- 留学先大学での修得単位がどれだけ早稲田大学での単位として認定されるかについては、**各所属学部・研究科の判断に委ねられています**。標準修業年限 (学部は 4 年) での卒業が保証されてはいませんので、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。
- 単位認定は自らが申請しない限り自動的には行われませんので、手続きの詳細をよく確認してください。

1 2. 危機管理について

(1) プログラム選択時の海外での安全情報の確認

- 「留学の手引き (日本語版) 2019-2020」p33 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることを留意してください。
- 外務省では、海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/>) で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。
- 「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案した上で出願してください。

(2) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

- 留学センターの留学プログラム (短期プログラム含む) に参加する学生は、**本学の指定する海外旅行保険 (東京海上日動火災の海外旅行保険) への加入が義務付けられており、加入しない状態での留学は認められていません**。
- 本学指定の海外旅行保険は、一般的な保険料よりも安くなっています (12 ヶ月で 152,030 円/2019 年 3 月現在)。
- 留学先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、**早稲田大学義務付け保険加入と併せて、必ず現地保険への加入が必要です**。留学する国、留学先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で 3 万円から、高額な場合だと 20 万円程度必要な場合があります。
- 精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合 (既往症) には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります (その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます)。
- 本学義務付け保険の保険料は、前年度においての事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、留学手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。

(3) 海外用携帯電話レンタルサービスへの加入

- 留学期間中の様々なリスクに対応するために、留学をする学生全員へ留学センターが包括契約をする海外用携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。
- 登録費用や毎月の基本料は原則として全て無料です。
- お支払いいただくのは、使用した通話料、および通信料（ショートメール料金含む）のみとなります。ただし、通話料は国により異なるほか、インターネット利用による通信料は、国によって高額となる可能性がありますので注意してください。
- 加入手続きの際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。

13. 出願準備 チェックリスト

※提出不要

	チェック内容	期限	チェック
1	募集要項の熟読	出願前	
	・スケジュールや、プログラムによる選考の違いを確認		
2	プログラムリスト、プログラムオーバービューの確認	出願前	
	・自身のGPAの計算（学内選考用） ・志望するプログラムでのTOEFL、IELTS、GPA、国籍等の制限がないか確認 ・留学先大学の学部ごとに決められている要件を満たしているか確認		
3	語学試験の公的証明書の準備	出願前	
	・証明書の取り寄せ ・TOEFL/IELTSのセクションスコア、各プログラムの要件を確認		
4	WEB出願登録	4/23（月） 正午 ～ 5/9（木） 17:00 締切	
	・早めに登録を済ませる ・登録するプログラムの種別（EX-R/L, GS-R/L）および言語を確認 ・登録後のメール受信確認 ・自身の控えとして申請内容のコピーを取る		
5	出願書類提出	5/6（月）～ 5/9（木） 受付 時間 10:00～ 17:00	
	<input type="checkbox"/> 海外留学プログラム誓約書 <input type="checkbox"/> 英文成績証明書 <input type="checkbox"/> <英語> TOEFL, IELTS等のスコアシート <input type="checkbox"/> <非英語> 該当言語の公的試験証明書 <input type="checkbox"/> <大学院生> 海外留学募集出願 大学院生推薦状 ・自身の控えとしてコピーを取る ・WEB出願の申請内容と同じか確認 ・WGGに設置してある所定の封筒に入れ、封をして提出		
6	面接試験の受験	5/18 （土） 詳細は後日 連絡	
	・非英語 EX-R は受験必須 ※非英語 EX-R はすべてのプログラムの語学要件を満たす公的証明書を出している出願者は受験免除		
7	選考結果発表の確認	5/31 （金） 13:00 以降	
	・MyWasedaにて選考結果の確認		
8	留学プログラム候補者決定直後オリエンテーションの参加	6/12 （水） 18:15～	
	【会場】22号館 201 教室		